



# 小田小だより

平成25年 5月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校

## こどもの日に思いを寄せて ～「父母の祈り」詩一篇～

学校長 木村 昭雄

「万緑満つる」という言葉がありますが、一年のうちでもっとも爽やかとされる季節。そんな季節の風によってこのぼりがそこかしこで泳いでいます。5月5日はこどもの日です。端午の節句ともいいます。このぼりのほかに、部屋によろいかぶとや五月人形を飾るご家庭もあるでしょう。

男の子、女の子にかかわらず、こどもの日に思いを寄せて一篇の詩をご紹介いたしましょう。この詩は、子育てに悩んでいた（今も悩み続けていますが・・・）私に、ある方が贈ってくれたものです。今は、この詩を読む度に清浄な気持ちとなり、小田小学校の子どもたちが愛おしくなります。同時に、お子さんが生まれた時の、今も変わらない保護者の皆様の思いをしっかりと受け止めなければ、と改めて考えさせられる詩でもあります。どうかお読みください。

### 父母の祈り

神よ、わが子が自分が望む道を歩めるように、  
わたしが歩みたいと望んだ道を子どもに強いる  
ことが無いように、  
わたしにできなかったことを、子どもに強いて  
苦しめることが無いように、  
神よ、わたしを守ってください。

わが子が歩みゆく遙か彼方を見すえて、  
今のわが子の過ちを見守らせてください。  
ゆっくりと成長するわが子の姿を、優しい心で  
見つめることができますように。  
些細ないたずらに微笑みかける時と、悪しき行い  
を毅然とたしなめる時、  
その二つの時を見分ける英知を与えてください。

わが子の怒り狂う言葉や、押し黙る孤独な姿に、  
悩み苦しむ子どもの心の叫びを聞き取ることが  
できますように。

そしてその深い淵を越え、子どもに歩み寄り、  
理解し合うことができるよう、  
神よ、力を与えてください。

できないことに目を留めて、  
いらだち、怒りの声を上げるのではなく、  
わが子が上手にできることに目を向けて、  
喜びのことばで誉めたたえることができるよう  
に、わたしを導き、力を与えてください。

わたしが、心からわが子を大切にすること  
によって、子どもも、心から人を大切にすること  
ができますように。  
わが子が力強く自分の道を歩めるように、  
わたしは子どもを送り出したい。  
神よ、どうかわたしに、その勇気を与えて  
ください。

先日、本校教職員で共通理解し、子どもたちにも朝会でお話した「目指す学級の子どもの姿」は次の通りです。

### ～一人ひとりのよさを学級のみんなで共感し合う子ども～

自分を愛し、自分のよさが語れる子ども  
友達を愛し、友達のよさが語れる子ども  
学級を愛し、学級のあゆみが語れる子ども

子どもが自分自身を愛するための前提として、愛されているという実感がなければなりません。「子どものよさ」とは、何かの基準に比した「良い」「悪い」の「良さ」ではなく、「その子の個性」「その子の持ち味」といわれるものです。しかし、究極の「よさ」は、「存在そのもの」「この世に生を受けたこと自体」が「その子のよさ」ではないでしょうか。自分を愛することのできない子どもが、どうして友達を愛することができるでしょう。「ぼくって、まんざらでもないな」「わたしって、結構すごいかも・・・」そう言える子ども。そして夕食どきや家族の団らんのひとときの会話に「○○君ってすごいんだよ・・・」と級友のよさを自分ごとのように自慢できる子ども、そんな素敵な子どもを育てるために、子どものよさを見つけ、そのよさを保護者の皆様と共有していきたいと考えています。

そして、「父母の祈り」の深奥に流れる子育ての思想と、保護者の皆様と子どもたちの思いや願いを、小田小学校全教職員のミッションにしていきたいと思っております。